

農業の多面的機能

- 農業は食料の生産のみならず、様々な役割を果たしています -



< 国土の保全 >

洪水防止機能

水田は周囲を畦畔で囲まれ、大雨の時に雨水を一時貯留し下流及び周辺に徐々に流すことにより、洪水を防止・軽減する機能があります。また、畑は土壌中の空隙に雨水を一時貯留します。

土壌浸食防止機能

農地においては、作物の栽培を通じて、畦畔の補修、有機物の投入による土壌の膨潤化、農地面の平坦化等が行われており、これにより水食、風食などによる土壌の流亡が抑制されています。

土砂崩壊防止機能

耕作されている水田は、灌漑水を定常的に地下水位を安定的に維持させる機能があります。水田が耕作放棄されると、地下水の安定的維持機能が損なわれ、大雨時の急激な地下水の上昇が起こり、地すべり等の土砂崩壊が発生しやすくなります。

< 水源のかん養 >

灌漑のために水田に導かれた河川水等の大部分は地下へ浸透し、さらに河川に還元され流況安定に寄与する部分と地下水として深部へ浸透する部分とに分かれます。また、非灌漑期の水田や畑も降雨を地下に浸透する機能があります。





< 自然環境の保全 >

有機性廃棄物の処理

食物残渣、し尿等の廃棄物は堆肥化され、田畑に還元され、再び農作物に吸収されることにより、資源の有効な利用に貢献しています。

物質分解・汚染物浄化

農地を耕作することを通して、細菌等を主体とする土壌微生物が過剰な有機物を分解・無機化しています。

大気の浄化

耕地における植生は大気汚染ガスを吸収し、大気を浄化する能力を有しています。また、田畑には炭酸ガスを吸収し酸素を放出することにより大気組成を安定させる機能も有しています。

多様な生物の保全

水田や農村には、多様な動植物が存在し、食物連鎖を通じて、一定の生態系が保全されています。

< 良好な景観の形成 >

農業・農村の有する美しい景観は、人間が農業を営む中で自然と一体となって形成されてきたものです。これらの景観を維持・保全することにより、地域住民や訪問者に対しその地域の歴史や文化までも含めて美的感覚や郷愁などを人々の心に訴えかけます。





< 文化の伝承 >

農村地域は、農業生産活動の継続とともに地域固有の長い歴史を通じて培ってきた衣食住をはじめ技術・学問・芸術・道徳・宗教・政治などの文化的所産を維持・継承しています。

< 保健休養 >

多数の人々が都市では見られない景観や自然、アメニティ更には潤いややすらぎを求めて、農村に足を運んでいます。



< 地域社会の活性化 >

農業以外の産業が立地できない若しくは農業が当該地域の他の産業のど土台となっている地域では、農業は当該地域の社会的・地域的存続を通じて国土の均衡ある発展に貢献しています。

< 食料安全保障 >

農業セクターが一定水準の生産能力を維持することにより、不測の事態や将来の需給逼迫の可能性に対するリスクを軽減し、国民の食料確保に関する不安を除去することによる社会的不安への寄与を通じて、食料安全保障に貢献します。

(写真(~)提供 : (社)農村環境整備センター)